

七夕まつり 8月5日(水)

笹飾りを子どもたちに紹介すると、興味をもち指さしたり揺れる飾りをじっと見つめたりしていました。さくらぐみさんは黄檗の「七夕まつり」に参加。つばみぐみさんとももぐみさんは、お部屋で天の川に見立てた平均台の斜面の昇り降りや新聞紙プールに出入りしたり、様々な素材でままごとを楽しんだりして過ごしました。



♪きらきらひかる～と歌を歌いながらご馳走を作ったり、七夕飾りをみて、「おほしさまあったー」とお話をしたりして、行事ならではの雰囲気を楽しんでいました。



昼食は特別メニュー。星の形の人参や大きなスイカに興味を示し、「おほしさまあったー」「おかわりください!」とたくさん食べていました。

シンボル(運動会のクラスシンボルとなる作品)遊び

フワフワ～…大きく揺れてやってきた白い布。「めーちゃん」と名づけると、「めーちゃん、めーちゃん」と親しみを込めて呼ぶ子どもの姿が見られました。みんなで広げて揺らしたり、畳に敷いて寝転がってみたりと柔らかい感触を楽しんでいました。遊びの中で、色水や絵の具で様々な色や模様も付き始めています。これから、どんな風に子どもたちの遊びの地層が重なっていくのか楽しみです。



水遊び・感触遊び

水・泡・氷などに触れながら、様々な感触の違いや、触るとどンドン形状が変わる不思議さなどを感じている様子の子どもたち。保育者や友達とその発見や楽しさを分かち合うことで、さらに遊びが広がるようでした。



様々な形の容器を使って水の移し替えをしたり、色水を使ってジュース屋さんごっこをしたりと楽しそう。うつ伏せ姿勢になり全身で水の感触を味わいながら、思い思いに水遊びを楽しんでいました。

顔を水に浸けて笑っている友達の姿を見て最初は驚いた様子の子どもも、楽しそうな様子から「〇〇ちゃんも!」と自然と水に顔をつける姿が見られました。手作りの波プールも大人気で「なみしてー」と、身体に打ち寄せる波を楽しんでいました。



色水をこぼしたり、絵の具のヌルヌルを手足で感じたりと、子どものワクワクがシンボルにちりばめられています。